



文責 本宮小学校長 佐久間仁

校外学習（五年）



総合で「食」をテーマに学習している五年生が、学区内にある糀屋さんを訪れ、味噌造りについて学びました。まず糀の歴史について教えていただきました。次にその糀を使って味噌造りを体験しました。豆をつぶして、糀を砕いて、塩を入れてよく混ぜました。最後に、空気を押し出すようにして袋に詰め、容器に入れて完成です。「おいしくなあれ。」願いを込めて一生懸命造りました。味噌が出来上がるのが十ヶ月後。美味しい味噌を食べるのが今から楽しみです。



就学時健康診断



二十五日、来年度入学予定児童が保護者とともに来校し、健康診断を行いました。学校医の先生に内科、歯科の状況を診ていただきました。保護者ガイダンスでは、栄養士、保健師さんから、食や健康に関するお話をいただきました。入学まであと半年。早寝・早起き・朝ご飯、食後の歯みがき、メディアの約束など、よりよい生活習慣を身に付けて、心身ともに健やかな毎日が過ごせるよう保護者の皆様のご協力をお願いします。ご入学を心待ちにしています。

〔栄養士さんの話〕

給食センターでは、子どもたちが日常または将来の食事作りにつながる「生きた教材」となるよう、手作りの主菜作りに努めている。また、日本の食文化の良さを知り、継承してもらえるよう「日本型食生活の日」を設けている。地元産の食材を使いながら、旬のものを提供している。お子さんが給食を楽しく食べることができるよう、ご家庭でも姿勢や箸の持ち方、食事のマナーなどを教えてほしい。アレルギー対応もしているので、ご心配な方は相談してほしい。

〔保健師さんの話〕

お子さんに予防接種を受けさせることは法律で定められており、親の役割の一つとされている。接種期間内に受けると、費用は全額無料になる。入学前の今のうちに、残りの予防接種を受けることをお勧めする。永久歯は、六歳ごろから生え始め、十二歳ごろに生えそろう。乳歯から永久歯に生え替わるこの時期は、より丁寧な歯のケアが必要になってくる。よい歯並びにするために、かみごたえのあるものをとるようにしてほしい。定期的にかかりつけの歯科医を受診し、アドバイスをもらうなど、歯の健康を守ってほしい。

〔校長講話（概要）〕



○スマホが脳に与える影響

- ・十代の三人に一人がベッドにスマホを持ち込み、その多くが睡眠障害を抱えている。
- ・スマホを全く使用しないグループとアプリを長時間使うグループでは学力テストで大きな差が出た。
- ・タブレットを毎日使い込んでいる子は脳の体積増加がゼロになる。
- ・音楽や動画などを視聴しながら学習すると、脳に悪影響を与える。
- ・スマホを持ったままテストを受けた子とスマホを別の部屋に置いて受けた子では、スマホを持っていないグループの成績が良かった。

○ネット、SNS利用の実態

- ・平日、休日ともに三時間以上利用している子どもが増加傾向にある。利用の長時間化に伴う生活習慣の乱れや健康への影響が心配。
- ・フィルタリング機能を設定していない家庭が全体の三分の二ほど。
- ・ルールを守る子はわずかながら増えたが、ネット上のトラブルは増加傾向にある。家庭内での定期的な話し合いとルールづくり、フィルタリングの設定が望まれる。
- ・保護者自身が積極的に学び、適切なインターネット利用を心がけ、よい手本になることが必要。

○情報モラルをどう教えるか

- ・今後は「トラブル」ベースの情報モラル教育だけでなく、「活用」ベースの情報モラル教育も大切。
- ・例えば、検索する場合、得られた情報は確かなものか、引用する場合、著作権は大丈夫か、発信では、誤解を招いたり人を傷つけたりする表現はないかなどに気を付けなければならぬ。



お知らせ（お詫び）

○理科作品展の入賞者に記載漏れがありました。改めてお知らせします。

【作品賞】六年 本多 晴「ため」